



茜の空

令和5年度 第7号
発行日 11月7日(火)
練馬区立石神井南中学校
校長 木原賢三

あなたの「木」は何ですか

校長 木原賢三

校庭の木々も紅葉し始め、石南中の周囲の様子も秋色に染まってきています。厳しい残暑もようやく終わり、学習、読書やスポーツなどに取り組むのに最適な季節となり、落ち着いた雰囲気を感じています。登校時に正門の前に立っていると、多くの生徒から「おはようございます。」との笑顔で気持ちの良い挨拶がされ、石南中の良き伝統を受け継ぐ生徒の成長を感じ、大変うれしく思います。

さて、10月20日(金)に第2回進路説明会が行われるとともに、11月より三者面談も始まり、いよいよ3年生は自分の希望の進路を決断する時期となってきました。「自分探しの旅の時間」ともいわれる中学時代、生徒たちは3年間で心身ともに大きく成長し、自我が芽生え、多感となる時期を迎えています。そのような時期に、自分と真剣に向き合い、「自分とはどのような人間なのか」「自分らしく生きるとはどのような生き方なのか」について、よく考え、自らの生き方を自分自身で決断できるようになってほしいと思います。これからの時代は、グローバル化の進展や価値観の多様化等、変化の激しい予測不可能な時代といわれています。そのような社会において、生徒たちに主体的に学びに向かう力を育み、自己実現を図らせる力を身に付けさせることは学校の使命です。そして、これからの持続可能な社会づくりのために、今、大人である私たちは、将来の子供たちに何が遺せるのでしょうか。

先日、東京新聞の社説において、創作劇「小さな王子さま」が紹介されていました。それは、小さな星に住む王子さまが、他の世界を知るために、自分の星にたった一輪のバラを残して旅立ちます。長い旅の途中で様々な人との物語に出会い、王子さまは大切なことに気が付くという創作劇の話です。劇の中のテーマの一つに、種をまく老人の物語があります。老人は、自分が生きているうちには見ることができない、木の育つ日を夢見て、良い種を選んで土にまきます。そして、舞台を去る時、「あなたたちに木を残せるのがわしの幸せだ」と言い残します。私は、老人が「あなたは次の世代にどんな木を残すのか」と、問いかけてくるように感じます。次の世代にとって大切なものとは。私たちの「木」とは何でしょうか。

本校が育てたい木は、主体的に自らの生き方について考え、平和で民主的な社会の創造に取り組む意識や態度です。そのために、本校では、全ての教育活動を通して、自分を真剣に見つめ、自己理解を深めさせるとともに、他者を思いやり、尊重する態度を育む教育を進めます。さらに、生徒が主体的に学習に取り組み、自らが学習課題を見つけ、その解決に向けて学習や振り返りを行ったり、グループ学習で仲間と協力して、課題を追究したり、解決したりする活動を進めています。課題を解決していくためには、一人で考えるのではなく、みんなで話し合う力、話し合いの中から新しいものを創り出す力、さらに、課題を解決する力などがこれからの予測不可能な時代に必要な力と考えるからです。社会にみられる課題をとらえ、「より良い社会にするためにはどうすればよいか」を考え、解決に向けて行動することができるようにする生徒の育成を図っていきます。

子どもたちの心に種をまけば、いつか芽吹くときがくる、そう信じて教育を続けることが次世代への贈り物、種をまく営みであると考えます。日々の教育活動が続けることが、次世代に渡す平和で民主的な幸せな社会という木の種をまく営み、次世代への贈り物になればと思います。今後とも保護者・地域の皆様のご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。

令和5年度 学力調査の結果について

◆全国学力学習状況調査

この調査は、文部科学省が毎年4月に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に実施している調査です。

本校の学力調査の結果は、実施3教科ともに国や都の平均正答率を上回っています。また、各教科ともに無回答率が低く、粘り強く問題に取り組んだことが見て取れます。課題としては、国語では、インタビューにおいて目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる問題、数学では、データの活用について複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する記述問題、英語では、自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く英作文の問題について、正答率も低く課題が見られました。

生徒質問紙調査(意識調査)では、以下の設問に対する回答で本校の学習活動への取組の成果が見られました。

	平均正答率(%)	
(設問36) 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	本校	85.0%
	東京都	72.2%
	全国	62.1%
(設問40) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	本校	83.0%
	東京都	80.1%
	全国	79.7%

◆児童・生徒の学力の向上を図るための調査(意識調査)

この調査は、東京都が小学校4～6年生と中学校全学年の生徒を対象に実施している調査で、児童生徒の学びに向かう力等に関する意識や、学校の指導方法を把握・分析して学習指導の充実や授業改善に活用することなどを目的としています。

(1)各教科の授業の内容に対する理解の程度、得意と感じる意識の程度

質問項目		国語	社会	数学	理科	英語
〇〇の授業の内容がよくわかる・どちらかといえばわかる	本校	89.3	82.8	84.6	80.4	87.1
	東京都	89.5	82.5	87.4	77.3	76.5
〇〇の学習は得意である・どちらかといえば得意である	本校	41.7	49.8	62.8	43.7	57.6
	東京都	54.7	51.0	57.7	53.2	49.1

※英語の学習に得意意識をもつ生徒の割合が高いことがわかります。

(2)学習の動機について(◎：あてはまる ○：どちらかといえばあてはまる)

質問項目	◎		○	
	本校	東京都	本校	東京都
(1) 分かることやできることが楽しいから。	41.1	39.0	41.1	41.1
(2) しっかり考えられるようになりたいから。	41.7	40.1	41.4	41.0
(3) 将来の仕事や生活に役立つから。	50.8	46.6	32.4	35.1
(4) 友達や先生と学習するのが楽しいから。	24.9	28.0	42.4	40.4
(5) 学校の学習で人に負けたくないから。	25.6	22.5	28.5	28.8

※学習の動機としては、「将来の仕事や生活に役立つから。」ととらえている生徒の割合が高く、自らの進路への意識をもって学習に取り組んでいる傾向が見られました。

プール改修工事について

今年度、本校プールは全面改修となります。11月13日(月)より令和6年3月25日(月)の工期で、工事が行われます。この間、校庭の一部が工事区域となり、フェンスが設置され工事車両等の出入りもあります。保健体育科の授業や部活動、昼休みの活動等には、一部制限がかかることとなります。ご理解とご協力をお願いいたします。